

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 6 年 1 月 31 日

公表:令和 6 年 2 月 7 日

事業所名 チャイルドウィッシュ三崎

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			玩具庫、倉庫などに整理整頓することで、広がりを作っています。	自由時間等において、運動する子と静かに読書する子を分けるため、読書コーナーを設置しました。
	2	職員の配置数は適切である	6				利用数に対して職員数が多い日もあり、今後利用促進を図っていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		1	以前からの情報量の多すぎる掲示物を整理することで、わかりやすくしています。	季節の掲示物や利用する子どもたちの作品の掲示を増やしながら、わかりやすさに加え、掲示・表示への興味を引き出す工夫を加えていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6			荷物ロッカーの位置を検討し、移動することで、学習コーナーを設置しました。	洗面台周辺の使用方法を少しずつ伝えていくことで、ゴミ捨てが楽なよう工夫します。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		1	毎朝の打ち合わせ等での会話を議題化し進めています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			日々の送迎後の会話、ライン等での保護者とのコミュニケーションを進めています。	保護者向け評価表のわかりにくい文言について、わかりやすく伝えていくようにします。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1		5		定期的な情報発信の手立てを工夫していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	4		外部評価に実施について検討を始めます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				OJTに加え、外部で行われる研修にも参加する機会を求めています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		1	こどもの見取りに関しては、全員の職員参加で行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	3		アセスメントの手立てに有効なツールを求めて研修・研究を深めています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3		3	個々の利用児童生徒の状況に応じて、地域・学校・家庭に関する要素を洗い出し設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2		4		現在1名の児童発達支援利用である。保護者と連携し対応を深めています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			本日の活動について、毎日全員で計画準備しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			創作・運動・集団活動等、多岐に渡った内容になっています。	今後、活動を積み上げながら、活動の仕分けを進め、事業所の特徴に育てていきます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		1	個別課題の時間、自由遊びの時間、今日の活動の時間を設定しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			毎日、昨日の振り返りと、本日の計画について話し合っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		1	支援後には特段の会議は設定しませんが、支援上の情報交換を毎日行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている			6	保護者への毎日の様子を文章と写真にて提供しています。	左記の資料に加え、支援記録として付加情報を蓄積していきます。
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		1	職員全体で、毎日の意見交換の中で、子どもの状況について見直しの資料としています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	1	3		今後相談支援事業所との、情報交換の方策について相談支援事業所と連絡を密にし模索していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	1	3		どのような連携の機会等があるのか、必要に応じて対応していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている					
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	1	利用している児童の利用計画の提供を通し、学校・園との接点をふやそうとしています。	今後、移行支援の必要なケースが見られたら、関係する学校との相互理解を進めていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4		資料提供に応じていただける機関から始めて、助言や研修の機会を得られるように模索していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		5		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	1	2	部会の会議に加えて、子どもの作品展の開催について連携して行っています。	本会議に加えて、「こども部会」の研修・会議に積極的に参加し、他の事業所との交流を深めていきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1		毎日の様子について文章と写真でお伝えしています。保護者からも好評を得ています。	未読の多い保護者については、メールでの情報提供や意見交換を増やしていきます。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4		2	現在も、希望する保護者が来所されて相談を受け付けています。	保護者からの働きかけに加えて、事業所からも声かけしながら、個別支援の面談等の機会に行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1			今後、利用児童生徒の数が多くなってからも、現在のように行っていくことができるよう、さらにプロセスについて改善を加えていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1		相談コーナーを設置することで、相談しやすくなるよう工夫しました。	働いている保護者も気軽に相談できる手立てを考えていきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6		父母の会の設置も含めて、気軽に保護者相互で情報交換ができる機会について検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6			子どもや保護者に相談する相手として選んでいただけるよう、対話を重視しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1		5		定期的な情報発信の手立てを工夫していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1		5		地域連携に関しては、どのような形で進めていくのがよいのかについて検討を加えていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	3		3		職員間で緊急対応について具体的に話し合い、実効的な計画となるよう、現在のものを改めていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		2		避難訓練の実施を月1回行うこととします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		1		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				ヒヤリハット記録を随時蓄積しながら対応を進めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	1	2		虐待・身体的拘束に係る研修を複数回実施します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	1	3		職員に、事前説明等で行われている内容について周知し、共通理解を図っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。